

## 31-0725 W3-1

子囊菌類クロコブタケに含まれる蜘蛛の性フェロモン

Dang Ngoc Quang<sup>1</sup>, 橋本 敏弘<sup>1</sup>, 豊田 正夫<sup>1</sup>, 浅川 義範<sup>1</sup> (<sup>1</sup>徳島文理大薬)

【目的】非食菌類より生理活性成分の検索の一環として、子囊菌類クロコブタケ (*Hypoxylon truncatum*) の成分研究を行い、3種の蜘蛛の性フェロモンを単離、同定した。さらに11種の *Hypoxylon* 属菌類について、成分検索を行ったので報告する。

【実験および結果】子囊菌類クロコブタケ (乾燥粉末 173g) のメタノール抽出エキスをシリカゲルおよび Sephadex LH-20 カラムクロマトを繰り返し行い、蜘蛛 (*Linyphia triangularis*) の性フェロモン (*R*)-3-hydroxybutyric acid (**1**) (880 mg), **1** の dimer (**2**) (992mg) および trimer (**3**) (496mg) を単離、同定した。さらに11種の *Hypoxylon* 属菌類について成分検索を行ったが、蜘蛛の性フェロモンは得られず、cohaerin A (**4**) などの興味ある構造を有する新規 azaphilone 類が多数単離された。

